

# 植樹式 2022



時の蘇生・柿の木プロジェクト

2月19日		千葉市美術館 日本・千葉県・千葉市	1
3月19日		市立パブリックパーク イタリア・ブレシア県・ログラート	2
3月22日		千葉県立若松高等学校 日本・千葉県・千葉市	3
3月27日		レシニャーノ農場 サンマリノ共和国・レシニャーノ	4
4月1日		北九州市山田緑地 日本・福岡県・北九州市	5
4月4日		カステルポルティアン大統領夏の邸宅 イタリア・ローマ	6
4月10日		平和の家「ラ・フィランダ」カサレッキオ・ディ・レーノ イタリア・ポローニャ	7
4月11日		「アンドレア マンテーニャ」ホテル学校 イタリア・ブレシア県	8
4月21日		“VALLI”の学校 イタリア・ベルガモ市	9
4月22日		「ジョルジョ・ペルラスカ」小学校 イタリア・ヴィチエンツァ・クイント ヴィチエンティーノ	10
5月14日		東京富士美術館 日本・東京都八王子市	11
6月5日		「ラ・ボスキーナ」市立公園 イタリア・ブレシア県・カルチナート	12
10月2日		コンティネンティの庭 イタリア・ナポリ市・スカンピア区	13
11月21日		オリベータ公園 イタリア・フィレンツェ・セスト・フィオレンティーノ	14

# 千葉市美術館

🇯🇵 日本

📍 千葉県・千葉市

🌱 2022年2月19日

2月19日に千葉市美術館で「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の植樹式が開催され、長崎の被爆柿の木2世の苗木が植樹されました。

今回の植樹は2020年9月19日から12月13日に同美術館で開催された「宮島達男 | クロニクル 1995-2020」展に展示された「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の関連イベントとして実施されたものです。コロナ禍により、何度も植樹式が延期され、ようやく実現した植樹式です。

千葉市美術館1階のさや堂ホールは旧川崎銀行、千葉支店で、天井が高くとても素敵なホール、千葉市の指定文化財となっています。植樹に先がけて、ここ「さや堂ホール」では、過去の「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の植樹の写真展示が行われ、植樹式関連ワークショップとして「柿の木モビルをつくろう」のワークショップが植樹式の前後に2回開催されました。感染対策として、ワークショップは1回、10組限定で実施され、応募が多数となり、参加者は抽選で決定したそうです。美術館が用意してくださったキッドを使用しつつも、子ども達はみんな独創的なアイデアにみちた素敵なモビルを制作していました。

植樹の前にはさや堂ホールで、展覧会の担当学芸員、森啓輔さん、山梨館長、宮島の挨拶があり、長崎の海老沼先生のメッセージも代読されました。また展示でコラボレーション作品を制作してくださったアーティストの林勇氣さんも植樹式にご参加下さり、お話をしてくださいました。

柿の木が植樹された場所は、美術館1階のカフェのすぐ横、通りに面したとても日当たりの良い場所です。子どもたちがみんなスコップで土をかけていきました。最後は美術館学芸員の皆様が土をならして、添え木を立てて、水をたっぷりやったださり完成です。この場所で子どもたちと一緒に大きく成長していくことを願います。



# 市立パズブロックパーク

 イタリア

 ブレシア県・ログラート市

 2022年3月19日

植樹式は、COVID-19のガイドラインを厳守し、2段階に分けて行われました。最初は、小さな子供たちのグループが木を植えました。その後、2023年5月27日に、市政とGruppo Ambiente Logratoという地元の協会が、地域住民や地域の学校を集めて大規模な祝賀会を開催しました。近隣の自治体の市長も出席し、2018年にブレシア委員会とともに来日し、この場所でのプロジェクト実現を推進したジュリアーノ・アラドリとアントニオ・デ・マトラ教授も出席しました。

お祭りでは、学校のオーケストラが平和に関連する曲を演奏し、核爆弾をはじめとするあらゆる兵器の使用をなくすという願いを込めました。



# 千葉県立若松高等学校

🇯🇵 日本  
📍 千葉県・千葉市  
🌱 2022年3月22日



2020年に千葉市美術館で開催された「宮島達男 | クロニクル 1995-2020」展で、「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の展示をみた千葉県立若松高等学校の美術の先生、佐藤政江先生が植樹申込をしてくださり、今回の植樹式が実現しました。



2021年、高校では沖縄に修学旅行に行く予定があり、沖縄で戦争のことを学び、学校で平和教育を実施する予定でした。しかし、コロナ禍で沖縄への修学旅行は中止になり、戦争について学ぶ機会がなくなったそうです。76年前に被爆した柿の木の2世を植樹することで、生徒たちに「平和とアート之力」について伝えられるのではないかと考えたそうです。

高校の美術部が中心になり、事前学習をスタートさせて、千葉県高等学校総合文化祭手にも、柿の木プロジェクトをテーマにした作品を出品しています。

3月22日の天気はあいにくの雨となり、植樹は天候が回復してから実施ということになりましたが、生徒たちは、体育館に全員が集まり、「ART in You PEACE in ART」集会を開催しました。

宮木裕一校長先生の挨拶に続き、宮島達男も柿の木プロジェクトについてのお話、海老沼先生のメッセージを代読させていただきました。そして「被爆柿の木2世」の授与を行いました。その後、生徒会の代表から、素敵な旗を使い、柿の木の名前が「恵（めぐみ）」と発表され、お礼の言葉が述べられました。

実際の植樹は、翌日の3月23日に代表の生徒と一緒に実施されました。事前の準備の穴掘りには、陸上部、砲丸投げの選手も手伝ってくれたそうです。植樹式に先駆けて行われた美術の時間に生徒たちが制作した柿の木のデザインした紙コップをスコップ代わりに使用して、苗木に土をかけて、それをまわりの木に取り付けて、柿の木の植樹をみんなで祝いしてくれました。

その1か月後には、「恵」に芽がでましたという嬉しい報告もありました。



# レシニャーノ農場

 サンマリノ共和国

 レシニャーノ

 2022年3月27日

サンマリノ・グリーン・フェスティバルの企画者であるガブリエレ・ジェミニアーニ博士とともに1年間かけて作り上げた植樹祭は、ミレーナ・エルコラーニ先生をコーディネーターとする小学校のクラスも参加して実施することができました。サンマリノ司教、在サンマリノイタリア大使、サンマリノ州執政官など、多くの関係者が集まりました。

海老沼氏も愛した大旗の下、ピースゲームが行われ、プロジェクトに参加した学校の少年たちの活躍が紹介されました。長崎の柿の木と一緒に、ルッカ県モンテ・マグノの友人たちは、ローマに向かう巡礼者たちが教皇の町へ向かう歴史的な道、VIA FRANCIGENAにあった歴史的なハルカシの子孫であるハルカシの木を植樹しました。このオークの木は、イタリアの偉大な芸術家ジョルジョ・ガベールが歌のインスピレーションを得た木でもあります。植樹地は、所有者が「平和のオアシス」として望んだ小さな神社の近くです。



# 北九州市山田緑地

🇯🇵 日本  
📍 福岡県・北九州市  
🌱 2022年4月1日

九州造園の代表取締役、藤田良司さんが、北九州市の依頼で海老沼正幸先生が育苗している『嘉代子桜の苗木』をいただきに伺ったときに、海老沼先生より「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の話聞き、植樹の申込をしてくださいました。

今回、「被爆柿の木2世」の植樹が行われた山田緑地は、九州造園が管理運営をしている公園で、かつて日本陸軍の弾薬庫があったそうです。その跡地が公園になっていることもあり、平和を願う気持ちで、ここを植樹場所として希望されたとのこと。

植樹式は、残念ながらコロナの感染状況により、断念されましたが、今後、この公園を訪れる北九州市内の小学生にこの柿の木の歴史を伝えていくそうです。山田緑地のスタッフとボランティアの皆様が今後、この柿の木を見守ってくださいます。



# カステルポルティアン大統領夏の邸宅

 イタリア

 ローマ

 2022年4月4日

2020年11月1日、COVID 19の犠牲者を追悼するために共和国大統領が自分たちの町をサプライズ訪問したことを受け、Castegnato自治体（柿の木プロジェクトに非常に積極的）とKAKI TREE EUROPE 理事会は、Sergio Mattarella 大統領に2代目の柿の木を提供することを決定しました。



セルジオ・マッタレラ大統領は、世界中の王、女王、国家元首から寄贈された他の植物と一緒に、イタリア国民全員に見てもらえるよう、夏の別荘の庭にこの木を置くことを希望しました。

式典は、大統領府のスタッフが司会を務め、長官のジュリア・ボネッラ博士がコーディネートし、在イタリア日本大使館の鍋島徳子代表も主賓として出席してくださいました。

カステグナート市を代表する35名の代表団は、市の平和担当評議員であるS.ra Giulia BonomelliとKAKI TREE EUROPEプロジェクトの人々を代表して出席しました。



# 平和の家「ラ・フィランダ」 カサレッキオ・ディ・レーノ

🇮🇹 イタリア

👤 ボローニャ

🌱 2022年4月10日

カサレッキオ・ディ・レーノの平和の家は、多くの人々が協力して、暴力は共に生きる意味をなさないというメッセージを様々な形で世界に発信している美しい場所です。

マウリツィオ・スガルツィ教授を中心に、音楽、詩、演劇、芸術的なパフォーマンスが交互に行われ、「平和は人生に美を与えるものです (PEACE IS THE THING TO GIVE BEAUTY TO LIFE)」というひとつのメッセージが込められた式典となりました。

また、地元行政官の立ち会いのもと、小学校の授業では、植物の成長を植物学的に観察するだけでなく、この日のために毎年記念の取り組みを行っています。

同時に、CASA DELLA PACEで活動するすべての協会は、ヨーロッパ委員会に対して、毎年、「CROCE」という総合学校のすべての学校に植物を植えることができるよう要請しました。



# 「アンドレア マンテーニャ」ホテル学校

🇮🇹 イタリア

📍 ブレシア県

🌱 2022年4月11日



このプロジェクトと2020年春に行われる予定だったセレモニーは、COVID 19ウイルスによる大規模な学校制限を考慮して、2022年にのみ実施されました。

式典は、日本の柿の木プロジェクト実行委員の代表、宮島達男、他数名がオンラインで参加しました。その後、学校の庭で2世の木を植えました。

在ミラノ日本領事館の方にもご出席いただき、ブレシア市長のエミリオ・デル・ボノ氏の仲介で、植樹式が行われました。また、KAKI TREE EUROPE 理事であるローザ・スカルパ教授の指導のもと、生徒たちが2年間待ち望んでいたメッセージを読み上げました。

最後に、ホテルスクールの生徒たちが、イタリアと日本という2つの現実の出会いに捧げる大きなランチ絵画開催されました。



# "VALLI" の学校



イタリア



ベルガモ市



2022年4月21日

42の国籍の子どもたちが集まるこの多様な小学校で、長崎の震災を生き延びた北村千代子さんの物語を伝える式典が行われました。孫娘の北村真紀さんは、1945年8月9日に起きた祖母が共有した悲惨な体験を雄弁に語ってくれました。

また、ベルガモの平和を願う会「こころ」の梨森純子代表が、ベルガモ平和評議員のマルツィア・マルケージ博士とともに、会を代表して挨拶しました。

式典には、Liceo Musicale Secco Suardoが参加し、音楽演奏によって重要な場面を巧みに演出しました。



# 「ジョルジョ・ペルラスカ」小学校

🇮🇹 イタリア

📍 ヴィチエンツァ・クイント ヴィチエンティーノ

🌱 2022年4月22日



「ジョルジョ・ペルラスカ」小学校では、2代目柿の木の植樹式が盛大に行われました。全校生徒が参加し、平和と喜びのメッセージをたくさん伝えました。

「トレントで見た柿の木を実現したい」というカルロッタ・アントニの夢を、ロベルタ・アルバーノ先生の指導のもとで実現しました。空から小雨が降ってきたにもかかわらず、彼らの決意は揺るぎませんでした。

また、キント・ヴィチエンティーノ市長の出席もあり、このプロジェクトの素晴らしさを強調し、会場に明るさを与えてくれました。この学校の代表団は、4月4日に共和国大統領の庭で行われた植樹イベントに参加したことがあります。KAKI TREE EUROPEの最年少アンバサダーであるアンジェロ・ガルビンとともに、感謝の気持ちを込めて、プロジェクトに参加したパオラ先生とアンナ先生に参加証明書が贈られました。



# 東京富士美術館

🇯🇵 日本

📍 東京都・八王子市市

📅 2022年5月14日



東京八王子市の東京富士美術館では、SDGsを推進する中で、「時の蘇生・柿の木プロジェクト」の活動に共鳴して、今回のプロジェクトの実施を決定しました。SDGsの17の目標のうち、「4: 質の高い教育をみんなに」「10: 人や国の不平等をなくそう」「11: 住み続けられるまちづくりを」「15: 陸の豊かさも守ろう」「16: 平和と公正をすべての人に」「17: パートナリシップで目標を達成しよう」を掲げて「SDGs x 時の蘇生・柿の木プロジェクト」を実施します。さらに、このゴールに向けてのアクションは世界の人々の平和と幸福への第一歩と位置づけ、キーワードを「つながる」としました。平和へのプロセスのひとつ「つながる」をテーマにアートの力でスタッフがつながり、地域とつながり、世界とつながり、心がつながる、平和を創り出す連続プロジェクト「つながる～Arts for Peace project」を開始し、2022年がその元年になります。

2022年4月から柿の木プロジェクトはスタートし、プロジェクトを紹介する展示も行われました。出前授業として、保育園にて、柿の木プロジェクトの概要がわかる紙芝居「かきのきのおやこ」（作者：木谷安憲）の上演が行われました。また、植樹式に先駆けて、アーティストで実行委員の北上貴和子さんによるワークショップが数回実施され、浅野みささんによるフラッグの展示も行いました。

5月14日の植樹式は、コロナ禍の中、久しぶりの制限なしの植樹式ということもあり、たくさんの方にご参加いただきました。「ミュージアムエデュケーション」を専攻している大学生も紙芝居やワークショップのサポーターとして大勢参加してくれました。午前中から柿の木の紙芝居や缶バッジ制作など、4つのワークショップが同時開催され、北上貴和子さんによるワークショップが植樹式当日も実施され、参加者が柿の葉にメッセージを書いて、大きな柿の木へ貼っていきました。（メッセージは4か月間で2000枚となる）

植樹式は、11時から、美しいバイオリンの音色でスタートし、小学5年生の藤原旭くんが司会をしてくれました。植樹式開始直前まで雨だったのに、始まったとたん、雨が上がり、本当に奇跡のようでした。担当学芸員の学芸員の平谷美華子さんのお話のあと、八王子市のゆるキャラ「松姫マッピー」も登場し、手紙や絵を収めたタイムカプセルを子どもたちと一緒に埋めました。長崎からは樹木医の海老沼正幸先生もかけつけて下さり、参加者の皆様に感謝の意を伝えました。その後、宮島達男よりプロジェクトの紹介があり、大勢の皆様と長崎の「被爆柿の木2世」の植樹を行いました。本当に賑やかな植樹式となりました。

午後は海老沼正幸先生のお話と、この4月から東京藝術大学の学長に就任された日比野克彦氏と宮島達男のクロストークが開催されました。日比野さんは1999年にベニスビエンナーレに柿の木プロジェクトが参加した時にはベニスでワークショップをして下さったり、柿ふるしきもデザインして下さい、長年にわたり、柿の木プロジェクトを応援して下さいます。

最後に日比野さんと海老沼先生と一緒に今回の関係者の皆様と記念撮影。日本各地からも植樹地の皆様が集って下さり、海老沼先生との懇談会も実現し、本当に充実した一日となりました。



# 「ラ・ボスキーナ」市立公園

 イタリア

 ブレシア県・カルチナート

 2022年6月5日

ブレシアとマントヴァの間に位置する町、カルチナートの市政が情熱を持って支援する、文化に特化した新設の公園で、長崎の柿の木が温かく迎え入れられました。弁護士のメチルドカフェット (METILDE CAFFETTO) が中心となって、数々の文化的な取り組みが行われ、その第一弾として、この公園に柿の木を植樹するセレモニーが行われました。

平和の歌を熱唱する子供たちの素晴らしいパフォーマンスによって、その雰囲気はさらに盛り上がりました。この素晴らしい合唱団は、ブレシアに招待され、宮島達男氏と会談し、音楽の才能を披露し、芸術作品を共有しました。

市長であるニコレッタ・マエストリ博士 (Dr. Nicoletta Maestri) をはじめとする当局者の出席は、欧州プロジェクトに対する自治体の公式なコミットメントに生命を吹き込みました。常に式典に出席している平和の大きな旗が、活気溢れる平和の踊りと共に、この盛況な式典を締めくくりました。



# コンティネンティの庭

🇮🇹 イタリア

📍 ナポリ市・スカンピア区

🌱 2022年10月2日

この式典に至るまで、長い旅でした。2020年、ナポリのスカンピア地区の2つの学校に2つの植物が植えられるはずでしたが、通関の難しさから植物はもなく枯れてしまいました。

スカンピアは、1970年から1990年にかけて、多くの犯罪問題を経験した地区です。カモッラというマフィアが毎日のように人を殺し、必要なサービスや社会との関わりがないことと並んで、麻薬が主な問題だった。そのため、スポーツ、音楽、演劇、料理などの活動を通じて、この地をより良い場所にしようとする団体が数多く存在します。以前は埋立地だった「5大陸の庭」には、PANGEAネットワークがコーディネートした柿の木が植えられています。

各協会がそれぞれの持ち味を發揮した素晴らしいパーティーとなりました。引退したアルド・ビフルコ教授と、偉大な壁画家フェリーチェ・ピニャータロの友人ミレッラは、スカンピアを変えるために最初にやってきた人たちで、今日スカンピアは変わり、さらに変わり続けています



# オリベータ公園

🇮🇹 イタリア

📍 フィレンツェ・セスト・フィオレンティーノ

🌱 2022年11月21日

2019年、ある植物がセスト・フィオレンティーノに到着しましたが、その旅の苦勞で弱ってしまいました。Vladislav Gavryusevさんは、MONDO SENZA GUERRE協会とのプロジェクト連絡担当者として、新しい植物を要求しました。COVID-19の困難を乗り越えた後、Vladislavさんは学校、市役所、平和主義者の友人たちを結集し、長崎の被爆柿の木2世をオリーブの木々のある市立公園に植えることができました。

植樹式には、セスト・フィオレンティーノの地方当局と共に、小学校のクラスや幼児クラスも出席しました。カマイオーレ（ルッカ）の自治体代表もこのセレモニーに参加し、柿の木プロジェクトの実施を開始する予定です。数週間後、プロジェクトを説明する美しい看板が暴漢によって壊されました...Vladislavさんとその家族はすぐに修復し、この無駄な暴力に対する抵抗の意思を示しました。

